

中部山岳国立公園南部地域における利用の高付加価値化に向けた事業対話（サウンディング調査）

事前説明会 質疑応答要旨

質問 1	「滞在体験の面的魅力向上」を図る上で、宿泊施設を伴うことは必須なのか。
回答 1	<p>国立公園の豊かな自然を十分に体感していただくには滞在型観光が望ましく、滞在拠点となる宿泊施設が核となり得るとの認識のもと、各公園で感動体験を提供する宿泊施設の方角性（新規施設の誘致、既存施設の活用等）を検討し、事業を展開していくことを想定している。</p> <p>ただし、利用の高付加価値化に向けては、地域の合意形成が必須であることから、宿泊施設の新規誘致ありきで進めるのではなく、今後も地域の意見を取り入れながら、各公園で必要な事業・取組を検討していく。</p>
質問 2	公募内容は、宿舍事業と周辺の活用と認識しているが、「周辺」の活用とはどこまでの範囲を指すのか、宿泊利用者に対するサービス提供のみを対象としているのか、事業実施に伴う環境整備（例えば従業員宿舍の整備等）まで含めるのか。
回答 2	今回いただいた提案は、「中部山岳国立公園南部地域利用の高付加価値化に向けた基本構想（以下、基本構想）」に取り入れ、地元自治体・関係者と共有するものである。本地域の利用の高付加価値化に資する事業であれば、いずれも提案可能である。
質問 3	提案内容を事業化する際、環境省からどのような協力をいただけるのか。
回答 3	本事業では民間事業者による事業推進を図るものであり、土地所有者・地域・行政等との調整が環境省の重要な役割と認識している。現時点では、本事業に特化した新たな補助事業の設置は想定されていない。既存の補助事業（国立公園等資源整備事業費補助金（国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業）等）を活用しつつ、既存補助事業対象外のものについては、地域とともに利用拠点マスタープランを検討する中で、対応を検討していく。
質問 4	基本的に国立公園内を対象とした事業提案を行うと認識しているが、公園利用を促進するような国立公園外における環境整備・サービス提供等についての提案は可能か。その際に環境省からの協力はあるか。
回答 4	国立公園外についても提案は可能である。提案内容は、基本構想に取り入れるとともに、地元自治体との調整を通じて、事業推進のための協力を働きかけていく想定である。
質問 5	サウンディング調査では、具体性の高い提案が必要か。アイデアレベルでも良いのか。
回答 5	<p>今回のサウンディング調査では、様々な視点から提案をいただくことを重視していることから、アイデアレベルの提案も可能である。</p> <p>また、候補に選定されなかった利用拠点についても、基本構想に提案を取り入れていくため、多くの提案をいただきたいと考えている。</p>